

平成22年度

業 務 概 要

国土交通省 東北地方整備局

北上川下流河川事務所

～目 次～

事業の方針	1
事業のポイント	2
主要事業箇所位置図	3
主要事業の概要	4
日根牛地区河川改修事業	7
横川地区河川改修事業	8
石巻地区河川改修事業	9
鳴瀬川中流部緊急対策特定区間事業	10
水害に強いまちづくり事業	11
多田川地区河川改修事業	12
吉田川上流地区河川改修事業	13
河川維持補修事業及び工作物関連応急対策事業	14
栗駒山系（宮城県）特定緊急砂防事業	15

事業の方針

北上川下流河川事務所では、平成 22 年度は、約 70 億円（工事関係費）の予算をもって、北上川下流及び鳴瀬川沿川地域の安全で安心できる社会基盤の形成、良好な水辺環境の保全、さらには個性豊かで活力ある地域づくりの支援を目指して河川及び砂防事業の推進を図ります。

河川事業では、北上川・旧北上川・江合川・鳴瀬川・吉田川など総延長 210.5km、総面積 7,440ha におよぶ所管区域の改修工事・維持管理等を実施しています。

砂防事業では、栗駒山系の迫川・三迫川流域において、平成 20 年度の岩手・宮城内陸地震により発生した河道閉塞箇所の安定化対策を実施しています。

平成 22 年度 北上川下流河川事務所事業費総括表

【河川事業】(工事関係費)

(単位:億円)

予 算 科 目		平成 22 年度		平成 21 年度		H 2 2 / H 2 1 (当初比)		備 考
		当初		当初				
		北上川水系	計	北上川水系	計	北上川水系	計	
		鳴瀬川水系		鳴瀬川水系		鳴瀬川水系		
河 川 改 修 費	一 般 改 修	4.915	36.088	6.541	36.557	0.75	0.99	鳴瀬川中流緊急対策特定区間事業 17.65億円(工事関係費)
		31.173		30.016		1.04		
河 川 維 持 費	河 川 管 理 施 設 更 新 費	13.400	23.525	14.124	25.590	0.95	0.92	
		10.125		11.466		0.88		
河 川 工 作 物 関 連 応 急 対 策 事 業 費		0.663	0.944	1.572	2.376	0.42	0.40	
		0.281		0.804		0.35		
総 合 水 系 環 境 整 備 事 業 費		0.100	0.100	1.530	1.530	0.07	0.07	
		—		—		—		
河 川 事 業 計		19.078	60.657	23.767	66.053	0.80	0.92	
		41.579		42.286		0.98		

※災害復旧事業費・受託工事費・調査費等は除く

【砂防事業】(工事関係費)

(単位:億円)

予 算 科 目		平成 22 年度		平成 21 年度		H 2 2 / H 2 1 (当初比)		備 考
		当初		当初				
		栗駒山系		栗駒山系		栗駒山系		
特定緊急砂防事業費		9.750		28.388		0.34		
砂 防 事 業 計		9.750		28.388		0.34		

※災害復旧事業費等は除く

【事務所全体】(工事関係費)

(単位:億円)

		平成 22 年度		平成 21 年度		H 2 2 / H 2 1 (当初比)		備 考
		当初		当初				
事務所全体		70.407		94.441		0.75		

事業のポイント

○平成 22 年度の国土交通省の予算配分においては、

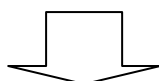
- 1) 安全・安心
- 2) 暮らし・環境
- 3) 活力・成長力

など当面する課題に対応する事業に重点を置くこととし、質の高い住宅・社会資本整備を効率的・効果的に推進します。

○東北地方整備局ではこの方針を踏まえ、

【東北地方が目指すべき将来の姿は】

優れたポテンシャルを活かしながら、人・物・情報の国内外との交流・連携を深め、低炭素社会の構築などの新たな時代の潮流に対応・貢献できる多様で自立した地域



【目指すべき将来の姿のため】

1. 地域の資源、特性を活かした産業による自立的・持続的な地域の実現
2. 交流・連携機能の強化による世界に開かれた地域の実現
3. 雪にも強く安全で安心して暮らせる温もりのある人に優しい地域の実現
4. 恵み豊かな自然と共生する環境先進地域の実現
5. 東北の人々が一体となって地域を考え行動する地域の実現

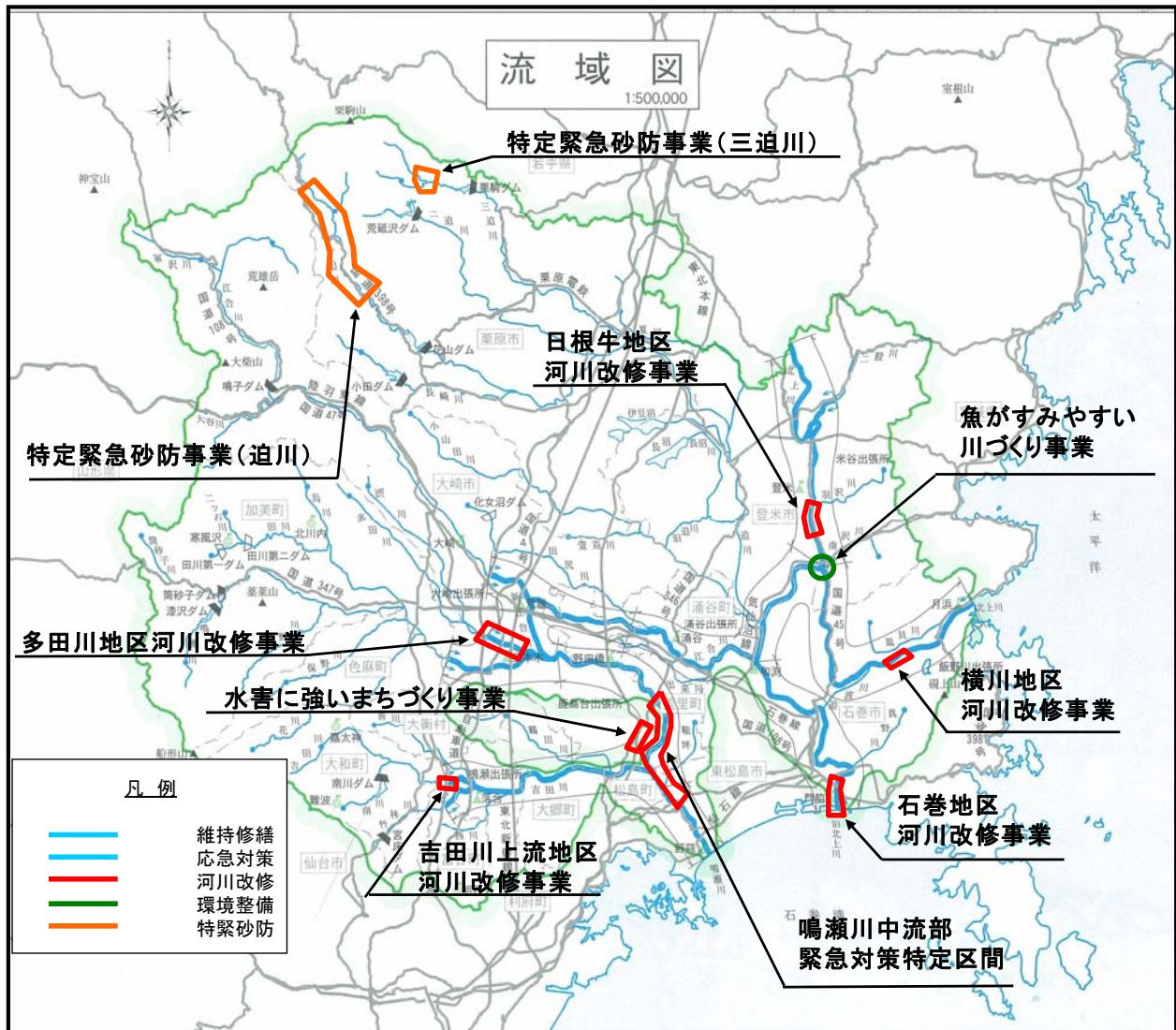
これら 5 つの重点戦略を掲げ、社会資本整備を進めます。

○北上川下流河川事務所では、これらの基本的な考えを踏まえつつ、以下の主要事業を実施します。

◎ 主要事業

- 日根牛地区河川改修事業【継続】
- 横川地区河川改修事業【継続】
- 石巻地区河川改修事業【継続】
- 鳴瀬川中流部緊急対策特定区間事業【継続】
- 水害に強いまちづくり事業【継続】
- 多田川地区河川改修事業【継続】
- 吉田川上流地区河川改修事業【継続】
- 河川維持補修事業及び工作物関連応急対策事業【継続】
- 栗駒山系（宮城県）特定緊急砂防事業【継続】

平成22年度 主要事業箇所位置図



主要事業の概要

◎河川整備事業

○北上川水系

・北上川

北上川左岸日根牛地区（登米市登米町～津山町）において、河川と道路の兼用堤防整備を促進するため、用地取得等を引き続き実施します。

北上川右岸横川地区（石巻市福地）において、堤防の幅や高さなどの不足を解消するため、堤防強化（拡築）を実施します。

・旧北上川

旧北上川左岸石巻地区（石巻市湊町）において、度重なる高潮浸水被害を軽減するため、浸水防止施設の整備を実施します。

○鳴瀬川水系

・鳴瀬川

鳴瀬川は自流域の洪水に加え、江合川の洪水を受け入れて安全に流下させる計画になっています。この計画に基づき、鳴瀬川中流部緊急対策特定区間（宮城県遠田郡美里町、大崎市、東松島市）の整備事業については河道掘削及び堤防の強化を図ります。

今年度は、東松島市（左岸側）において築堤工事及び西福田橋架替工事の推進・目移排水機場新設工事への着手、大崎市鹿島台（右岸側）において築堤工事の事業進捗を図ります。

・吉田川

昭和 61 年 8 月の吉田川の洪水により大きな被害を受けた地区（大崎市鹿島台・黒川郡大郷町・宮城郡松島町）において、水害に強いまちづくり事業の一環として建設される二線堤兼用の国道 346 号鹿島台バイパスの早期暫定供用に向け、跨線橋上部工の架設及び橋台、舗装等を実施します。

また、流下能力が著しく不足し背後に国道、工業地、市街地があり人口資産が密集する吉田川上流地区において、河道掘削等による改修を実施し、治水安全度の向上を図ります。

・多田川

堤防背後に人口資産が密集する多田川地区において、堤防の幅や高さなどの不足を解消するため、当該地区の堤防強化（拡築）を実施します。

◎総合水系環境整備事業

総合水系環境整備事業は、流域全体の視点から河川とダムの連携を図りながら水系一環した環境整備を図る事業です。

魚がすみやすい川づくりを目指し、昨年度実施した鴫波洗堰魚道改善箇所では魚類等の遡上実態調査を実施します。

◎河川維持補修事業

河川維持補修事業は、北上川水系（宮城県内）及び鳴瀬川水系の河川管理区間 210.5 km において、河川管理施設の機能を確実に発揮するための維持管理や経年劣化・洪水等により損傷した管理施設の補修、河川区域内における異常や変化を把握し、災害発生の防止等を目的とした河川巡視を実施します。

◎河川工作物関連応急対策事業

河川工作物関連応急対策事業は、樋門・樋管等の河川工作物や工作物関連施設について詳細点検を行い、機能維持のため応急的に改善措置を実施します。

◎特定緊急砂防事業

岩手・宮城内陸地震により大規模な山腹崩壊等が発生し、今後も継続的な土砂流出が予想されるため、緊急対策に継続して短期かつ集中的に新規えん堤の建設や既存えん堤の嵩上げにより、不安定土砂を捕足し、土砂災害から市街地を守る事業です。

栗駒山系（栗原市花山～栗駒）において、平成 20 年 6 月の岩手・宮城内陸地震により、甚大な土砂災害が発生していることから、一定の砂防施設計画に基づき、河道閉塞箇所の安定化対策を実施します。

◎北上川水系河川整備計画の策定

「北上川水系河川整備計画」は平成 18 年 11 月に策定された「北上川水系河川整備基本方針」に沿って当面 30 年間に実施する河川工事の目的、種類、場所等の具体的事項を示す計画です。

この計画については、学識者等の意見を反映させるため懇談会を平成 19 年 5 月に設立しており、今後、具体的な整備内容について地方公共団体、地域住民等から意見を聴き、今年中を目処に策定する予定です。

◎河川の調査

○洪水予報・水防警報

洪水による水害を防止、軽減し、沿川住民の安全を図るため、気象台と共同し、当事務所管内河川について、洪水予報の発表を行うとともに、水防活動のための水防警報の発表を行います。

○雨量、水位・流量観測

河川計画・河川管理のための基礎データ収集および洪水対策を目的として、管内 14 箇所に雨量計を、40 箇所に水位計を設置し、自動的に観測しており、リアルタイムでデータが事務所に送られ、洪水時には河川の状況をいち早く把握して、洪水予報を行います。

流量観測については、通常時及び洪水時に観測を行い、雨量や水位のデータとともに河川計画や河川管理上の基礎資料に用いています。

○堤防調査

北上川・鳴瀬川において、耐震性における河川堤防の所要の安全性等を確保するための堤防調査を実施します。

○河川水辺の国勢調査

河川には、種々の魚や鳥、昆虫、動物、植物などが生息しています。水と緑のあふれる河川は人やもちろん生物にとっても他に代え難い貴重な空間です。潤いのある豊かな河川を保全していくためには、今後なお一層、河川の環境に配慮していくことが必要です。

このため国土交通省では、全国 109 の一級水系を中心に河川を環境という観点からとらえた定期的・継続的・統一的な河川に関する基礎情報の収集整理を行う「河川水辺の国勢調査」を平成 2 年度から実施しています。

●北上川水系（北上川・旧北上川・江合川）

平成 21 年度は植物の調査を実施しました。今年度は、陸上昆虫類の調査を実施します。

●鳴瀬川水系（鳴瀬川・吉田川）

平成 21 年度は底生生物の調査を実施しました。今年度は、両生類・は虫類・哺乳類の調査を実施します。

日根牛地区河川改修事業

とめし
(登米市)



計画概要

- ① 着手年度 : 平成 20 年度
- ② 計画諸元 : 堤防拡築
- ③ 平成 22 年度工事関係費 : 218 百万円

事業概要

北上川の左岸、登米市日根牛地区の堤防は幅や高さが不足しているほか、堤外地（※注）に家屋が存在しており、近年では平成 10 年、平成 14 年、平成 19 年と頻繁に浸水被害が生じています。このため、宮城県・登米市と連携して堤防整備を進め、浸水被害の解消と治水安全度の向上を図るものです。

今年度は、用地の取得を促進し事業の推進を図ります。

（※注）堤外地：堤防を境に河川側の敷地を、堤防よりも外側という意味で「堤外地」と言う。

関連事業

- 一般国道 342 号改築（宮城県）
- 県道東和登米線改築（宮城県）
- 大橋周辺地区整備事業（登米市）

横川地区河川改修事業

いしのまきし
(石巻市)



計画概要

- ① 着手年度 : 平成 21 年度
- ② 計画諸元 : 堤防拡築
- ③ 平成 22 年度工事関係費 : 164 百万円

事業概要

北上川の右岸、石巻市横川地区の堤防は幅や高さが不足している暫定堤防となっています。また、本地区は背後に山が迫っている典型的な貯留型のはん濫が発生しやすい箇所であるため、堤防強化を実施し、治水安全度の向上を図るものです。

今年度は、築堤及び護岸工事を実施します。

石巻地区河川改修事業

いしのまきし
(石巻市)



計画概要

- ① 着手年度 : 平成 21 年度
- ② 計画諸元 : 浸水防止施設
- ③ 平成 22 年度工事関係費 : 109 百万円

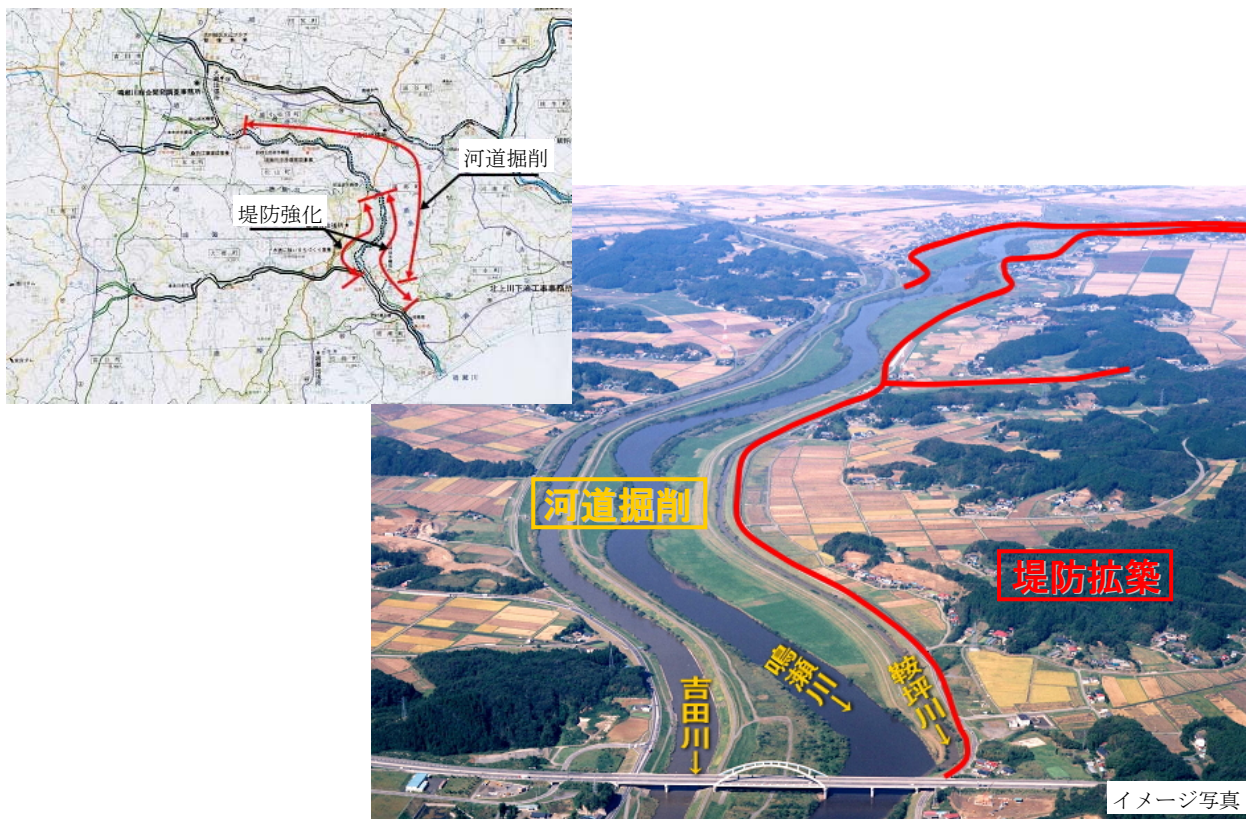
事業概要

旧北上川の河口部、石巻地区は石巻市中心部であり、左右岸とも無堤となっているため、近年では平成 10 年、平成 14 年、平成 18 年、平成 19 年、平成 21 年と高潮による浸水被害が多発しており、浸水防止施設を整備し、高潮による浸水被害を受けた家屋等の再度災害防止を図ります。

今年度は、石巻左岸地区の浸水防止施設を実施します。

鳴瀬川中流部緊急対策特定区間事業

とおだぐんみさとまち おおさきしかしまだい ひがしまつしまし
(遠田郡美里町、大崎市鹿島台、東松島市)



計画概要

- ① 着手年度 : 平成 15 年度～平成 24 年度
- ② 計画諸元 : 河道掘削・堤防拡築
- ③ 全体事業費 : 約 19,200 百万円
- ④ 平成 22 年度工事関係費 : 1,765 百万円

事業概要

宮城県北部低平地域を流れる北上川や鳴瀬川など流域全体の治水安全度の向上を図るためには、旧北上川分派施設の整備完了による北上川から旧北上川へのゼロ分派の実現に加え、江合川から鳴瀬川への分派量の増大を図ることが必要となっています。

本事業は、江合川（新江合川）からの分派量増に先立ち、鳴瀬川の治水安全度の向上を図るものであり、鳴瀬川中流部の河道掘削及び堤防拡築を集中的・効率的に行うものです。

今年度は、東松島市(左岸側)において築堤工事及び西福田橋架替工事の推進、目移排水機場新設工事への着手、大崎市鹿島台(右岸側)において築堤工事の事業進捗を図ります。

水害に強いまちづくり事業

おおさきしかしまだい くろかわぐんおおさとちょう みやぎぐんまつしままち
(大崎市鹿島台・黒川郡大郷町・宮城郡松島町)



計画概要

- ① 着手年度 : 平成2年度
- ② 計画諸元 : 二線堤約7.4 km・水防災拠点1箇所(約2.6 ha)
- ③ 全体事業費 : 約22,000百万円(国)
- ④ 平成22年度工事関係費 : 924百万円(国)

事業概要

昭和61年8月の吉田川の洪水により大きな被害を受けた地区(大崎市鹿島台・大郷町・松島町)において、再度の被害を防止し被害を最小限にとどめるための「二線堤」、緊急用資材置場、水防活動拠点、周辺住民の避難地としての機能を持つ「水防災拠点」等の施設を総合的に整備する事業です。

今年度は、国道346号鹿島台バイパスの早期暫定供用に向け、跨線橋上部工の架設及び橋台、舗装等を実施します。

事業実施により

- ① 快適生活拠点都市の形成
- ② 無秩序な氾濫地域への宅地化進展の防止
- ③ バイパス機能を持つことから市街地の交通渋滞の緩和等の効果が期待されます。

関連事業

国道346号道路改良事業(宮城県)

多田川地区河川改修事業

おおさきし
(大崎市)



計画概要

- ① 着手年度 : 平成元年度
- ② 計画諸元 : 堤防拡築
- ③ 平成 22 年度工事関係費 : 328 百万円

事業概要

堤防の高さ・幅が不足し、背後に人口資産が密集する鳴瀬川支川の多田川地区において、鳴瀬川本川の背水により洪水継続時間が長時間に及ぶ特性もあるため、当該地区の堤防強化を図ります。

(主要事業の概要)

吉田川上流地区河川改修事業

たいわちょう
(大和町)



計画概要

- ① 着手年度 : 平成17年度
- ② 計画諸元 : 河道掘削
- ③ 平成22年度工事関係費 : 100百万円

事業概要

吉田川三川合流部（吉田川・竹林川・善川）より上流の地区においては、河川と隣接して国道、工業地、市街地があり人口資産が密集しているものの、河川の流下能力が著しく不足しているため、河道掘削等を整備し、治水安全度の向上を図ります。

河川維持補修事業及び工作物関連応急対策事業

(北上川・旧北上川・江合川・鳴瀬川・吉田川など総延長210.5km)



排水機場の補修を実施



樋門等管理施設のゲート開閉装置の電動化・上屋設置

計画概要

①平成 22 年度河川維持費

- ・北上川水系：1,074.8 百万円、鳴瀬川水系：871.5 百万円

②平成 22 年度河川管理施設更新費

- ・北上川水系：265.2 百万円、鳴瀬川水系：141.0 百万円

③平成 22 年度河川工作物関連応急対策事業費

- ・北上川水系：66.3 百万円、鳴瀬川水系：28.1 百万円

※金額は、工事関係費

事業概要

河川維持補修事業は、洪水等による災害発生の防止や河川管理施設の機能を維持するため、堤防の状態監視や堤防の異常発見のための堤防除草や洪水等により損傷した護岸補修、旧北上川分流施設・北上大堰及び鳴瀬川中流堰・桑折江堰等の大規模施設及び水門、排水機場、樋門・樋管等、全 164 箇所

の操作・点検・補修、河川全般を監視する河川巡視等の業務を実施します。

また、排水ポンプ車（30m³/分×4 台、60m³/分×3 台 計 7 台）及び照明車（4 台）を配備し、災害発生時における機動的な内水排除作業を実施します。

河川工作物関連応急対策事業は、樋門・樋管等の河川工作物や工作物関連施設等について詳細点検を行い、機能維持のため応急的に改善措置を実施します。今年度は、洪水時に樋門ゲートが確実に開閉するように、ゲート開閉装置の電動化や操作台への上屋設置等を実施します。

(主要事業の概要)

栗駒山系（宮城県）特定緊急砂防事業

くりはらし
(栗原市)



計画概要

- ① 着手年度 : 平成 21 年度
- ② 計画諸元 : 砂防えん堤 5 基
- ③ 平成 22 年度工事関係費 : 975 百万円

事業概要

栗駒山系（栗原市花山～栗駒）においては、平成 20 年 6 月の岩手・宮城内陸地震により、甚大な土砂災害（河道閉塞）が複数存在しています。発災直後より応急対策事業を実施しており、引き続き河道閉塞箇所の安定化対策を図り、下流地域を大規模土砂災害から保全するものです。

今年度は、用地の取得を促進し、砂防えん堤整備の推進を図ります。

お問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局
北上川下流河川事務所 調査課

〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新下沼 80
TEL 0225-94-9847(直通) FAX 0225-94-9857